

生徒指導部



豊かな人間性を育てる生徒指導の推進

山形市立第八小学校 丸山 一裕

I はじめに

本部会では研究主題「豊かな人間性を育てる生徒指導の推進」のもと、前半は今年度開催の東北連小研究協議会分科会の発表（発表者 丸山）に向けて準備を進め、後半は外部講師を招聘しての研修会や情報交換を行ってきた。

II 活動方針

研究主題

豊かな人間性を育てる生徒指導の推進

- 1 児童理解を深め、関わり合う力の育成を目指し、提言できる活動に努める。
- 2 学校と家庭・地域・異校種・関係機関との連携・接続を密にした生徒指導の推進を図る。

III 活動のあゆみ

1 第1回部会 4月11日

- (1) 活動方針および組織、年間計画作成
- (2) 生徒指導アンケートの検討
- (3) 情報交換

2 プレ発表 5月12日

5月定例校長会全体会にて、東北連小研究協議会分科会のプレ発表を行った。会員から貴重な助言をいただき、佐藤昌彦会長より激励の言葉を頂戴した。

3 第63回東北連小研究協議会山形大会

第4分科会発表 7月7日

(発表主題)

「情報社会に適応できる力を育む

教育課程編成のための校長の役割」

4 第2回部会 9月5日

生徒指導研修1（講話）

演題「フリースクールあにまるの『いま』と『これから』について」

講師 フリースクールあにまる

理事長 荒木のぞみ 氏

事務長 荒木 秀和 氏

5 第3回部会 10月6日

生徒指導研修2（講話）

演題「最近の児童生徒の問題行動と未然防止について」

講師 山形警察署 生活安全課生活安全係
兼少年サポートセンター村山

企画調整官 田中 恵美 氏

6 第4回部会 12月8日

(1) 市小学校・附幼の不登校児の分析と提案について検討

(2) 情報交換

7 第5回部会 2月9日

(1) 東北連小研究協議会発表の振り返り

(2) 1年間の反省と課題の整理

(3) 情報交換

IV 今年度の取り組みから

1 生徒指導アンケートについて

(1) 毎月、全体会の中に、アンケート結果や寄せられた事例を共有する情報交換の場を設定していただいた。共有した情報を各校の実態に応じて生徒指導に生かすことができた。

2 東北連小研究協議会山形大会

第4分科会発表について

R2～R5年度に渡る生徒指導部の研究発表であった。分科会テーマ「豊かな人間性を育む教育課程の推進」について、情報社会に対応して生きていく力を育む教育課程の編成に向けて生徒指導部員が各校の実践事例を持ち寄り、分析と検討を重ねて研究発表を行った。4年間で成果と課題を明確にすることができた。

3 生徒指導研修について

(1) 研修1

「フリースクールあにまるの『いま』と『これから』について」に学ぶ

- ① 2009年に活動を開始し、2017年に「フリースクールあにまる」と名称変更。
- ② 社会復帰に向けて何度でもリスタート
「通所（コミュニティチャレンジ）、社会復帰（スタート）、訪問支援（休息）」のトライアングルの考え方。何度でもチャレンジさせる。
- ③ 「フリースクールあにまる」のコンセプト、自立に導くトライアングル（3要素）
ア）学び・運動・コミュニティ
イ）環境を整える「食生活・生活リズム・メンタルバランス」
ウ）スタート&リスタート（継続）
「休息：時々休みも必要」
- ④ 家庭（保護者）との連携
ア）家族とフリースクールが役割分担する（民間の強み）。
イ）本当に体温を感じることができる距離を大切に。「寄り添いサポート」
ウ）親が変わらなければ子は変わらない。
- ⑤ 学校との連携
ア）それぞれの役割分担（学校でやりにくいことをフリースクールで）
イ）相互の情報共有が必要
ウ）学校復帰を目指す。
将来的には社会復帰を目指す。

(2) 研修2

「最近の児童生徒の問題行動と未然防止について」に学ぶ

① 学校警察連絡協定について

H16年に協定ができたおかげで、警察から学校に情報提供等の連絡ができるようになった。適切に対応していくためには必要である、という強い思いで協定が結ばれた。それまでは、警察が児童・生徒の情報を持っていたとしても事実を伝えることができなかった。

② 少年補導概況

小学生が増加している。低年齢化&悪質になっている。中には発達障がいに関係している場合も考えられる。走行中の車への投石、店の商品を箱から出して握りつぶす等、器物破損もひどい状況である。

③ 親としての信念

家庭内暴力が増えたのは、スマホが増えたことも一因ではないか。スマホを与えていると静かになる、取り上げると暴れる等、交換条件による子育ての失敗につながっている。

また、問題がおきた時、「子どもがこう言ってますよ。」という親が増えている。子どもに何を伝えなければならないのかが分かっている。

V おわりに

今年度も、研修やアンケートの実施、東北連小研究協議会発表に向けた取り組み等、充実した活動を行うことができた。部員、一人一人が役割を果たし意欲的に活動に参加できた成果と考える。

最後になりましたが、研修で講師をお引き受けいただいた先生方に衷心より感謝申し上げます。

生徒指導部員

◎丸山 一裕（山八小） ○細川 直弥（蔵王一小）
樋口 潤一（山十小） 佐藤 勝子（楯山小）
森谷 弘昭（明治小） 鈴木 章人（蔵王二小）
山口 雅和（西山形小）